

## 大分教育事務所訪問②-32 (計105)

# 津久見市立津久見小学校に学ぶ

## 学校経営から学ぶ

本校では、取組指標にかかる(教職員等の)取組の実施率等の測定や検証に加え、(子どもの)達成指標の測定・検証を、3部会を中心に分析をして改善点を明確にしています。また、後藤教務主任が「たちばな通信」を発行して、各部会の取組の結果や学力調査等の分析をわかりやすく紹介することで、全職員が課題に対して素早く行動ができ、3部会の連携も図られています。

そのようなことから、学校が育成を目指す(教科横断的な)資質・能力も「言語能力『考えを形成し深める力(自分の考えをもち表現する力)』と焦点化されています。

今後は、その資質・能力について全職員で協議をすることを通して、より共通理解をすすめてはいかがでしょうか。そのことで、具体的な取組は担当者や児童会にも任せることができ、それぞれの当事者意識が高まると思いました。同様に、PTA委員長部会と熟議をすることで、保護者や地域との協働も推進されると思いました。

## 授業から学ぶ

11月5日に行われた津久見市教研・市人研助成研究発表会に向けて、教科担任制の在り方を含み、授業改善を組織的、計画的に行ってきました。私自身も今回の指導案や授業から、低学年における聴き方や姿勢の在り方、中・高学年では自己開示ができる、ペアや班での話し合いの在り方等多くのことを学ぶことができました。

今後は、学力向上プランの取組指標にある、「わかりやすい授業の構築」について、焦点化されてみてはいかがでしょうか。例えば、「振り返り」は教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」でより具体的に表したり、子どもが書きそうな内容を複数想定し、互見授業等で教師が考えた「振り返り」と子どもが実際に書いたものとの違いから学んだり、「めあて」との連動、評価規準との整合性について協議したりすることで、授業改善がより推進されると思いました。



NO.473 2021年11月 津久見市立津久見小学校

## 他を思いやり

お互い相手のことを思いながら学び合うので、自然に同じ所をさしていますね。



NO.472 2021年11月 津久見市立津久見小学校

## 一人が美しい

自分が決めたことだから、自分が納得するまでやる。周りに流されることはない。



NO.475 2021年11月 津久見市立津久見小学校

## 挑戦する

みんなの挙手が、自分の気持ちを後押ししてくれる。だから、私も挑戦できる。



NO.474 2021年11月 津久見市立津久見小学校

## 学ぶ楽しさ

「わたしもあなたも同じだね」学び合うと、自然に笑顔があふれてくる。